

IF

提供: ExcelPedia

概要

指定された条件を判断し、その結果によって処理を分岐します。

書式

次の書式で引数を指定します。

IF(論理式, 真の場合, 偽の場合)

各引数の説明

論理式

基本的に論理値 (TRUE[真]またはFALSE[偽] のどちらか) を返す式を指定します。例えば、「A10=100」は「セルA10は100と等しい」という命題を判断する論理式です。セルA10の値が100であれば、「セルA10は100と等しい」という命題は真実であるのでTRUEとなり、セルA10の値が100以外の場合には、「セルA10は100と等しい」という命題は虚偽であるのでFALSEとなります。

真の場合

論理式がTRUEの場合に返す値、または数式を指定します。論理式に「A10=100」を指定した場合に、セルA10が100であった場合に返したい値や計算したい式をこの部分に指定します。

偽の場合

論理式がFALSEの場合に返す値、または数式を指定します。論理式に「A10=100」を指定した場合に、セルA10が100でなかった場合に返したい値、計算したい式をこの部分に指定します。省略は可能ですが、その場合、論理式がFALSEの場合にはFALSEが計算結果として返されます。

使用例

IF関数使用例

	A	B	C	D	E
1	110			=IF(A1=100,"A1は100","A1は100以外")	
2					
3					
4					
5					
6					

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことができます。
Internet Explorer 普通に貼り付け / FireFox [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

セルA1が100の時、"A1は100" という文字列を、また、セルA1が100以外の時には "A1は100以外" という文字列を返します。

「<http://localhost/mwiki/index.php/IF>」より作成

カテゴリ: 関数

-
- このページの最終更新は 2009年11月19日 (木) 15:02 に行われました。